

平成 27 年 12 月 25 日 (金)

沖縄タイムス (3) 米軍施設返還 105 億円 基地従業員関係を増額

米軍施設返還105億円

基地従業員関係を増額

【東京】防衛省は2016年度予算案で、嘉手納以南の米軍施設返還関連経費として105億円(契約ベース)を計上した。キャンプ・コリドー地区と米軍牧場補給地区(キャンプ・キンザー)の倉庫を嘉手納弾薬庫知花地区とトリエ通信施設へ移設する費用として73億円を積んだ。西軍間

住宅地区の建物取り壊しや原状回復費は29億円とした。

また、日米両政府が合意した普天間飛行場東側とキャンプの一部返還経費で計21億円を確保。普天間は市道11号と併走する巡回道路の移設関係で19億円、キンザーはゲート整備などに2億円を計上した。那覇港湾施設(那覇軍港)移転に向けた環境影響評価の方法書作成の経費として5700万円を確保した。

米軍再編の円滑化事業は1億7700万円(4.3%)増の42億6500万円。久辺3区への補助金7800万円の他、再編交付金40億2300万円を計上し

た。基地従業員関係経費は466億5100万円、前年度比2.8%(12億7700万円)増。日米が合意した在日米軍駐留経費負担(思いやり予算)による従業員上限の引き上げのほか、人事院勧告を反映した結果で増額となった。

提供施設整備費は59億円で11施設、27事業を実施する。普天間で最も額が大きいのは調整池を建設する雨水排水施設整備事業で、13億3200万円。トリエ通信施設の宿舎改築、北部訓練場の宿舎新築、ホワイトビーチへの消防署新築に向けた調査費として計4100万円を計上した。

6月に返還されたキャンプ・ハンセンの一部の原状回復費に7300万円をつけた。軍用地料は単価が1.2%上がり、12億円増となる990億2300万円とした。

補償費のうち、嘉手納基地跡地の沖縄市サッカー場で見つかった高濃度汚染のドラム缶による土壌回復費として5億円を計上し

防衛省の2016年度 沖縄関係経費

事項	15年度 予算額	16年度 予算案	対前年度 増▲減額	対前年度 伸ひ率
1. 基地周辺対策経費	(17,164)	(18,282)	(1,118)	(6.5)
住宅防音	(5,053)	(4,749)	(▲304)	(▲6.0)
周辺環境整備	(12,110)	(13,533)	(1,422)	(11.7)
2. 補償経費等	(100,644)	(102,764)	(2,120)	(2.1)
(1)施設の借料	98,602	100,515	1,913	1.9
土地等の借料	97,823	99,023	1,200	1.2
その他(道路使用等)	779	1,492	713	91.6
(2)漁業補償	957	966	9	1.0
(3)その他の補償等	(1,085)	(1,283)	(198)	(18.2)
3. 基地従業員関係	45,374	46,651	1,277	2.8
4. 提供施設の整備	(7,041)	(8,523)	(1,482)	(21.0)
5. 提供施設の移設	(2,390)	(35)	(▲2,355)	(▲98.5)
合計	(172,612)	(176,255)	(3,642)	(2.1)
	166,653	173,557	6,904	4.1

注意：上段()内は、契約ベース。(単位：百万円、%)
計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。